

令和4年1月26日  
釧路地方気象台

## 週間天気予報に係る情報提供の変更について

気象庁ホームページでご覧いただく週間天気予報について、地図形式での表示を加えることで、一目で確認できる改善を図りました。また、週間天気予報解説資料についても、より分かりやすい内容への改善を実施しました。これらを踏まえて、文章のみで発表している全国や地方の週間天気予報の提供を終了します。

気象庁では、全国、地方及び都府県等を単位として週間天気予報を発表しています（それぞれ全般、地方及び府県週間天気予報といいます）。

令和3年2月に実施した気象庁ホームページの更新により、府県週間天気予報の地図形式での表示が加わり、府県週間天気予報を広範囲に一目で確認できるようになりました。また、予報の考え方等を解説する週間天気予報解説資料を令和3年12月15日からより分かりやすい内容へと改善しました。

これらを踏まえて、文章のみで発表している全般週間天気予報は令和4年1月31日に、地方週間天気予報は令和5年3月末をもって、それぞれ発表を終了いたします。

週間天気予報解説資料は以下の URL をご覧ください。

[https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/data/jishin/kaisetsu\\_shukan\\_latest.pdf](https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/data/jishin/kaisetsu_shukan_latest.pdf)

問合せ先：釧路地方気象台 防災管理官  
電話 0154-31-5146

### 全般週間天気予報

全般週間天気予報  
2021年12月14日10時54分 気象庁 発表

予報期間 12月15日から12月21日まで

北日本と東日本から西日本の日本海側を中心に降った大雪や入しけとなるおそれがあり、大荒れとなる所もあるでしょう。

沖繩・奄美は、期間のはじめは高気圧に覆われておおむね晴れますが、その後は気圧の谷や寒気の影響で曇りの日が多く、雨の降る所がある見込みです。

最高気温と最低気温はともに、全国的に平年並か平年より高く、期間のはじめは平年よりかなり高い所もありますが、中頃は平年より低い日があり、平年よりかなり低い所もあるでしょう。

文字情報のみ

### 地方週間天気予報

北海道地方週間天気予報  
2021年12月14日10時34分 札幌管区気象台 発表

予報期間 12月15日から12月21日まで

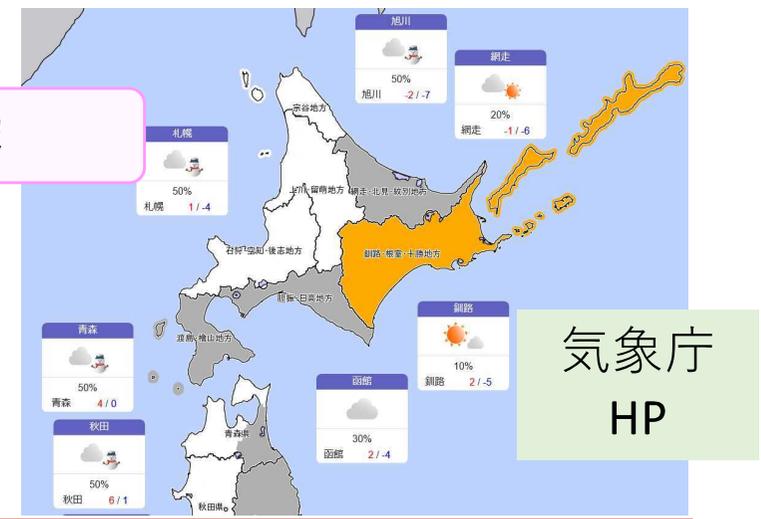
向こう一週間は、低気圧や寒気の影響で曇りや雪の日が多いでしょう。

海は、波の高い日が多く、期間のはじめは高気圧に覆われておおむね晴れますが、その後は気圧の谷や寒気の影響で曇りの日が多く、雨の降る所がある見込みです。

最高気温・最低気温はともに、期間の前半は平年より高く、かなり高い所もありますが、期間の後半は平年並か平年より低いでしょう。

文字情報のみ

### 新：平面図化した週間天気予報



図情報

- ・全国、地方の予報を的確に認識可能
- ・目的に応じた地域を確認可能

### 週間天気予報解説資料

週間天気予報解説資料  
2021年12月14日10時00分 発表  
気象庁

予報期間 12月15日から12月21日まで

1. 予報の根拠と補足等  
最新のアンシツル資料 (ENS) は、17日に日本付近に強い低気圧が通過し、手島近海付近の低気圧が強化された。また、19日以降は日本付近の高気圧が上昇し、大陸の高気圧の日本付近に張り出すため、我々には日本付近は強い冬の気圧配置となる。 ENS と同様の初期値をとり、予報は、ENS を基本とする。

●17日：強い寒気を伴うトラフが深まりながら日本（前線）に低気圧が発生する可能性がある。低気圧は日本付近に張り出すため、我々には日本付近は強い冬の気圧配置となる。 ENS と同様の初期値をとり、予報は、ENS を基本とする。

●18日：トラフは日本の東に、リッジは日本付近に張り出す。 ENS と同様の初期値をとり、予報は、ENS を基本とする。

●19日：トラフは日本の東に、リッジは日本付近に張り出す。 ENS と同様の初期値をとり、予報は、ENS を基本とする。

●20日：トラフは日本の東に、リッジは日本付近に張り出す。 ENS と同様の初期値をとり、予報は、ENS を基本とする。

●21日：トラフは日本の東に、リッジは日本付近に張り出す。 ENS と同様の初期値をとり、予報は、ENS を基本とする。

●沖繩・奄美：気圧の谷や寒気の影響で曇りが多く、期間の中頃は曇りや雨の降る所がある。

2. 防災事項  
●17日から18日頃にかけては、冬の気圧配置の強まりの程度等によっては、北日本から西日本の日本海側を中心に大荒れや大雪となるおそれがある。

3. 明後日予報(3時40分発表の短期予報解説資料も参照)  
●500hPa は+2℃以下の寒気を作り、500~5100m 付近のトラフが中国東北部で深まり、日本付近はゾーナルな流れから次第に西向きに弱くなる。

●地上は、高気圧が日本の南から日本の東へ移動。トラフ前線の日本海には低気圧が発生して東進。また、500hPa5700m 付近の強風線に対応する前線の低気圧が西日本から東日本へ進む。

●天気は、北・東日本の日本海側は寒気や日本海の低気圧の影響で曇りや雪や雨の降る所がある。北・東日本の太平洋側ははじめて降る所が多いが、低気圧や前線の影響で雨や大雪に降りやすくなり、雨の降り出す所がある。西日本は低気圧や前線の影響で雨の降る所が多い。沖繩・奄美は高気圧に覆われて概ね晴れる。

気象の専門家向けの解説を文章にしたもの

文字情報+図情報  
防災事項等  
要点を押さえた解説へ

気象の専門家以外にも分かりやすい概要を追加  
専門家向け部分も図の活用等にて改善

より端的で分かりやすい解説を利用可能

### 新：週間天気予報解説資料 (イメージ)

週間天気予報解説資料  
2021年10月29日10時00分発表  
気象庁

予報期間 10月30日から12月6日まで

◆今期間のポイント  
<主要しよう乱の概要>  
<防災事項>

枠や図を活用し、視覚的にも把握できる  
分かりやすい構成へ  
リニューアル